

初級形容詞における第一義と使用頻度をめぐって

丹 保 健 一

On the Primary Sense of the Basic Adjective and its Frequency

Ken-ichi TANBO

〔キーワード〕 多義語、辞書、形容詞、使用頻度、基本的意味

〔要旨〕 辞書において殆ど例外なく基本的・一般的意味（第一義）とされているものであっても、使用頻度が低いものがある。基本的な形容詞においてその実態を調査し、あわせて若干の考察をおこなった。

I. はじめに

本稿は、辞書における形容詞多義語の配列のあり方を考えるための一つのステップとして、形容詞における語義配列（とりわけ第一義）の揺れを調査すると共に、基本的・一般的意味以外の意味が高い使用頻度を示すことのあることを指摘すると共に、そのことに関して若干の考察を行った。

先ず、I-1においては対象とする形容詞について、I-2においては対象とする辞書について説明する。IIにおいては対象とした46語の形容詞の、辞書における第一義の意味立項の調査結果を示す。IIIにおいては、第一義のゆれが見られない語であって、かつ明らかに第一義の使用頻度が低いと思われる「強い」「軽い」について考察する。

I-1. 対象とする形容詞

ここで扱う語は、基本的・基礎的語彙であると思われる形容詞である。具体的には、以下に示す、『日本語教育語彙資料（1）（2）－低学年初級500語』に含まれる形容詞46語である。（以下、このような形容詞を「初級形容詞」と略称することがある。）

あおい（青）、あかい（赤）、あかるい（明）、あたらしい（新）、あつい（暑）、あつい（熱）、あぶない（危）、あまい（甘）、いたい（痛）、うれしい（嬉）、おいしい、おおい（多）、おおきい（大）、おそい（遅）、おもい（重）、おもしろい（面白）、かるい（軽）、かわいい（可愛）、くらい（暗）、くろい（黒）、さびしい（寂）、さむい（寒）、しろい（白）、すずしい（涼）、たかい（高）、たのしい（楽）、ちいさい（小）、ちかい（近）、つめたい（冷）、つよい（強）、とおい（遠）、ない（無）、ながい（長）、はやい（早、速）、ひくい（低）、ふとい（太）、ふるい（古）、ほそい（細）、まずい、まるい（丸）、みじかい（短）、むずかしい（難）、やさしい（易）、やすい（安）、よわい（弱）、わるい（悪）

I - 2. 辞書について

第一義の意味立項の調査は、(1) 現代語中心、(2) 一般社会人が対象（あるいは対象に含まれている）、(3) 語彙数6～8万語の小型辞書、(4) 百科事典的なもの及び学習辞典的なものを除く、(5) 基本的な意味または一般的な意味順に多義（語義の下位区分）を配列している」と明記しているもの、という五つの条件を満足させる次のような辞書を対象とする。

- 1 『学研現代新国語辞典』初版 語彙項目数 約6万5千
- 2 『角川新国語辞典』初版 語彙項目数 7万数千
- 3 『三省堂国語辞典』第4版 語彙項目数 7万3千
- 4 『三省堂現代国語辞典』初版 語彙項目数 約6万
- 5 『福武国語辞典』初版 語彙項目数 約6万

以下、1～5 を各々「学新」「角新」「三国」「三現」「福武」と略記することがある。

II. 辞書における第一義の意味記述

II - 1. 辞書に見られる第一義の立項

辞書の意味区分は「学新」を基準とする。「学新」以外は、第一義のみを挙げる。ただし、より多くの区分が見られる場合は、その例を一辞書に限って示した。なお、辞書名右の数値は多義数を、() 内の数値は第何義であるかを示す。丸中数字は第何義であるかを示す。

<01>あおい (青)

- 01 【学新】5 (1) 青(1) の色をしている。(2) 緑色である。(3) 青に似た感じの色で薄暗い。(4) [病気のように] 顔に血の気がない。顔色が悪い。[心配や恐怖のあまり血の気を失うようすにも用いる。](5) 未熟である。
- 01 【三現】3 (1) 青の色をしている。
- 01 【角新】3 (1) 青色、または緑色をしている。
- 01 【三国】4 (1) 青の色だ。
- 01 【福武】3 (1) 青の色の色をしている。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 青の色をしている。	①	①	①	①
② 緑色である。				
③ 青に似た感じの色で				
④ 顔に血の気がない。顔色				
⑤ 未熟である。				

<02>あかい (赤)

- 02 【学新】4 (1) 赤(1) の色をしている。(2) 赤みをおびている。明るい茶色である。また、だいたい色である。(3) 健康で血色がよい。[興奮したり、のぼせたり、はずかしがったり、酒に酔ったりしたようすにも用いる。](4) [俗] 共産主義者である。共産主義思想をもっている。左翼的である。
- 02 【三現】3 (1) 赤の色をしている。
- 02 【角新】2 (1) 赤色をしている。

02【三国】3(1) 赤の色だ。

02【福武】2(1) 赤(1)の色をしている。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 赤(1)の色をしている。	①	①	①	①
② 赤みをおびている。				
③ 健康で血色がよい。				
④ 共産主義者である。				

<03>あかるい(明)

03【学新】6(1) [物がよく見えるように] 十分光を・だして(通して) いるようす。光がさしている状態である。(2) [性格・表情・状態などが] 楽しそうである。ほがらかである。(3) やましいことや、かくしごとがなく、正しい。(4) [将来などに] 期待がもてる。(5) [色が] にごりなく、新鮮だ。くすんでいない。(6) ある物事についてよく知っている。詳しい。

03【三現】7(1) 光がじゅうぶんに強い。(2) [光がじゅうぶんで] 物がはっきり見えるようす。(3) 色がくすんでいない。(4) はればれとして、ほがらかだ。(5) 期待がもてるようす。(6) かけひきやうらおもてがない。(7) よく知っている。

03【角新】5(1) 光が十分あって物がよく見える。

03【三国】5(1) 光がじゅうぶんで(よく見える状態)だ

03【福武】6(1) 光が十分で物がよく見える状態である。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 十分光を・だして(通…	①	①	①	①
② 楽しそうである。				
③ やましいことや、かく…				
④ 期待がもてる。				
⑤ にごりなく、はっきり…				
⑥ ある物事についてよく…				

<04>あたらしい(新)

04【学新】4(1) [物ができてから、また物事が始まってから] あまり時間がたっていない。(2) [野菜・魚などがとりたてで] 生き生きしている。(3) 今までにそういうものがなかった。はじめてのものだ。(4) [今までになく] 現代的・進歩的である。

04【三現】3(1) 今までのものとちがって、初めてのものである。

04【角新】4(1) (物事が) できてから間もない。

04【三国】4(1) はじめて見たり聞いたり使ったり・する(した)状態だ。

04【福武】3(1) 今までに見聞きしなかった事物・状態である。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① あまり時間がたっていな…	①			
② 生き生きしている。				
③ 今までにそういうものが…		①	①	①
④ 現代的・進歩的である。				

<05>あつい（暑）

- 05【学新】1（1）[不快なほど] 気温が高い。
 05【三現】1（1）からだが熱く感じられるくらいに気温が高い。
 05【角新】1（1）気温が高い。
 05【三国】1（1）まわりの空気が、からだ全体に熱く感じられるようすだ。
 05【福武】熱い・暑い4（1）[熱い]（火気・湯気などの）温度が高い。（2）[暑い] 気温が高い。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 気温が高い。	①	①	①	①

<06>あつい（熱）

- 06【学新】3（1）温度が高い状態だ。ア、イ、ウ、（2）感情が激している。（3）愛情を注いでいる。
 ほれている。
 06【三現】3（1）手などでさわれないくらいに温度が高い。
 06【角新】3（1）（特に固体・液体の）温度が非常に高い。
 06【三国】4（1）火に近づいたときなどのような感じだ。（2）体温に近い。（3）気持ちが高まってい
 るようすだ。（4）異性を愛して熱中しているようすだ。
 06【福武】熱い・暑い4（1）[熱い]（火気・湯気などの）温度が高い。（2）[暑い] 気温が高い。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 温度が高い状態だ。	①	①	①	①
② 感情が激している。				
③ 愛情を注いでいる。…				

<07>あぶない（危）

- 07【学新】4（1）[よくないことが起りそうで] 気がかりだ。危険だ。（2）滅びそうな、またなくなり
 そうな状態である。（3）実現しそうもない。成功しそうもない。不安である。（4）たしかでなく、信
 用できない。
 07【三現】4（1）けがをしたり死んだりするおそれがありそうだ。
 07【角新】4（1）危害を受けそうではらはらすさま。あやうい。
 07【三国】1（1）けがをしたり、死んだり、損をしたりし・そうだ（そうで心配だ）。
 07【福武】2（1）死やけがなどが身に迫っている状態だ。危険だ。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 気がかりだ。危険だ。	①	①	①	①
② 滅びそうな、またなくな…				
③ 実現しそうもない。…				
④ たしかでなく、信用でき…				

<08>あまい（甘）

- 08【学新】9（1）砂糖や蜜のもっている味である。（2）[料理で] 塩気が少ない。（3）[においが] 糖
 分を思わせるようだ。（4）心がとけるようだ。人を喜ばせてさそいこむようだ。（5）[男女間の] 愛
 情が細やかである。（6）[しつけ・採点などが] 厳しくない。親切で、何でもうけいれる。（7）深く

考えない。考えがたりない。のんきである。また、大したものではない。(8) [刃物の] 切れ味が悪い。鈍い。(9) ぴったり合わない。ゆるい。

08【三現】9(1) 砂糖(さとう)のような味だ。

08【角新】7(1) 砂糖や蜜の味がしている。糖味がしている。

08【三国】8(1) 砂糖のような味だ。

08【福武】3(1) 砂糖や蜜などをなめたとき感じる味だ。また、塩味が薄い。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 糖分のもっている味である。	①	①	①	①
② 塩気が少ない。				①
③ [においが] 糖分を思わ…				
④ 心がとけるようだ。…				
⑤ 愛情が細やかである。				
⑥ きびしくない。親切で…				
⑦ 深く考えない。…				
⑧ [刃物の] 切れ味が悪い。…				
⑨ ぴったり合わない。…				

<09>いたい(痛)

09【学新】2(1) 体の一部を打たれたり、強く押されたり、傷つけられたりしてたえがたい感じだ。(2) [弱点をつかれ] ひどく困る。つらく苦しい。

09【三現】1(1) からだの一部が、ずきずきしたり、しくしくしたり、ひりひりしたり、がんがんしたりする感じだ。

09【角新】2(1) からだに不快・異常・苦しみをひどく感じる。

09【三国】3(1) からだを打たれたり、さされたりして、つらくて、がまんができなくなる感じだ。(2) [損害などをこうむって] つらい。(3) 弱点をつかれて、まいった。

09【福武】2(1) 肉体が強い刺激をうけて、苦しくつらい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 体の一部を打たれたり、…	①	①	①	①
② ひどく困る。…				

<10>うれしい(嬉)

10【学新】2(1) にこにこしたくなる気持ちだ。じぶんの希望するとおりの状態であるので喜んでいる。喜ばしい。(2) [俗] あいきょうがある。にくめない。かわいい。

10【三現】1(1) (嬉しい) いいことがあって、楽しい。

10【角新】2(1) 楽しく喜ばしい。楽しい。

10【三国】1(1) [望ましい状態になって] 心が楽しい。

10【福武】1(1) (望ましい満足すべき状態になって) ころよく楽しい。晴れ晴れとした気持ちだ。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① にこにこしたくなる気持ち…	①	①	①	①
② あいきょうがある。…				

<11>おいしい

11【学新】1(1)「飲食物の」味がよい。うまい。

11【三現】1(1)味がよい。

11【角新】1(1)味がよい。うまい。

11【三国】3(1)「うまい」の上品な言い方。(2)「俗」魅力がある。(3)「俗」口先だけがじゃうずだ。

11【福武】1(1)味がよい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 「飲食物の」味がよい。	①	①	①	①

<12>おおい(多)

12【学新】1(1)「数・量・度数などが」たくさんある。

12【三現】1(1)数や量がたくさんあるようす。

12【角新】1(1)数量がたくさんある。

12【三国】1(1)数や量が、こんなにある、という状態だ。

12【福武】1(1)数や量がたくさんある。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① たくさんある。	①	①	①	①

<13>おおきい(大)

13【学新】7(1)「かさ・広さ・長さなどが」たくさん場所を占める。(2)「数・量・程度などが」多い。はなはだしい。(3)範囲が広い。(4)年齢が上である。おとなである。また、すぐれている。(5)重要である。(6)こせつかずゆとりがある。心が広い。(7)おおげさである。

13【三現】9(1)かさが多い。(2)ひろい。(3)ふとい。(4)「数・量・程度(ていど)などが」多い。はなはだしい。(5)年上である。(6)心が広い。(7)おおげさである。(8)えらぶっている。(9)重要である。

13【角新】8(1)かさ・量が多い。

13【三国】6(1)容積が多い。かさが多い。

13【福武】2(1)形・数量・度合いが他のものや平均的な値を上回っている。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① たくさん場所を占める…	①	①	①	①
② 多い。はなはだしい。				①
③ 範囲が広い。				
④ 年齢が上である。…				①
⑤ 重要である。				
⑥ こせつかずゆとりがある。…				
⑦ おおげさである。				

<14>おそい(遅)

14【学新】4(1)「動きがにぶく」事を行うのに時間が余分にかかる。のろい。(2)ある時刻におくれているので役にたたない。まにあわない。(3)時間的にあとである。(4)時間がだいふたっている。

特に、夜がふけている。

14【三現】4(1) 速度が、のろい。

14【角新】4(1) (通常より) 時間がかかる。のろい。

14【三国】3(1) 速度が、のろい。時間が、かかるようすだ。

14【福武】3(1) 時間が余分にかかる。のろい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 事を行うのに時間が余分…	①	①	①	①
② ある時刻におくれている…				
③ 時間的にあとである。				
④ 時間がだいぶたっている…				

<15>おもい(重)

15【学新】3(1) そのものを持ち上げようとするときに、多くの力を要する。ある物を基準にして、それより目方がある。また、そのような感じである。(2) [気分が] はればれしない。不快だ。(3) 程度がはなはだしい。ひどい。また、重要である。

15【三現】5(1) めかたが多い。

15【角新】6(1) 目方が多い。(2) 動き・働きがにぶい。(3) 大切である。(4) 程度がはなはだしい。(5) 気持ちがはればれしない。(6) 落ち着いている。

15【三国】5(1) 目方が多い。

15【福武】5(1) 目方が多い。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① そのものを持ち上げよう…	①	①	①	①
② はればれしない…				
③ 程度がはなはだしい…				

<16>おもしろい(面白)

16【学新】3(1) ふつうと違って笑い出たくなるようすである。こっけいである。(2) 楽しく、てつい夢中になってしまうようすである。興味をそそられて退屈しない。(3) 思うとおりで好ましい。[否定形で用いることが多い。]

16【三現】5(1) 気分が楽しい。(2) 心をひかれて、興味(きょうみ)がもてるようすだ。(3) 笑(わら)いたくなる感じだ。(4) おもむきがある。(5) [「おもしろくない」の形で] のぞましい状態(じょうたい)でない。

16【角新】4(1) こっけいである。おかしい。

16【三国】4(1) 何かして、気分が楽しい。心が引かれ楽しい。

16【福武】4(1) おかしい。こっけいである。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① ふつうと違って…	①		③	①
② 楽しくてつい、夢中に…		①		
③ 思うとおりで好ましい。			①?	

<17>かるい（軽）

17【学新】9（1）重さが少ない。「紙は石よりー・い」「ー・い荷物」（2）動きが軽快である。「身がー・い」「ステップもー・くダンスをする」（3）軽率である。「口がー・い」（4）気持ちが明るくはれはれとしている。「心もー・くハイキングに行く」（5）程度がはなはだしくない。「責任がー・い」「ー・い病気」（6）〔処理が〕簡単である。「ー・く優勝できる」「仕事をー・くかたづけろ」（7）物事にこだわらず、あっさりしている。「ー・く引き受ける」（8）〔みぶんが〕低い。「ー・い地位」（9）〔味などが〕あっさりしている。

17【三現】9（1）目方が少ない。

17【角新】6（1）目方がすくない。

17【三国】7（1）目方が少ない。

17【福武】4（1）重さが少ない。目方が少ない。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 重さが少ない。	①	①	①	①
② 動きが軽快である。				
③ 軽率である。				
④ 気持ちが明るくはれはれと…				
⑤ 程度がはなはだしくない。				
⑥ 〔処理が〕簡単である。				
⑦ 物事にこだわらず、あっ…				
⑧ 身分が低い				
⑨ 〔味などが〕あっさりして…				

<18>かわいい（可愛）

18【学新】2（1）〔息子・娘・妻・恋人などに対して〕深く愛する気持ちや大切にすることをこさせる。（2）小さくて、または、子供っぽくて、ほほえましい気持ちをおこさせる。愛らしい。かわいらしい。

18【三現】1（1）深く愛し、たいせつに思う気持ちを起こさせるようす。

18【角新】2（1）愛らしい。愛すべきだ。かわいらしい。

18【三国】1（1）（心がいたくなるほど）好きだったり、形が、ととのって気にいったり、おしかったりして、自分のそばからはなしたくない気持ちだ。かわゆい。

18【福武】2（1）小さくて愛らしい。かわいらしい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 深く愛する気持ちやたいせ…	①	①	①	①
② 小さくて、または…				

<19>くらい（暗）

19【学新】5（1）見た全体が、黒っぽい感じだ。ア、イ、（2）〔人・物、あるいは人によって表現されたものなどに対する〕印象が陰気である。（3）物事が・思わしく（好ましく）ない状態だ。〔希望が持てない、公平さを欠く、かくしだてをする、不吉である、などの状態をいう。〕（4）〔気持ち・表情などが〕沈んで、晴れ晴れしない。重くらしい。（5）知識が乏しい。事情に通じていない。不案内である。

19【三現】6 (1) 光が弱い。(2) [光が弱くて] 物がはっきり見えないようす。(3) 色がくすんでいる。(4) はれやかでなく、しずんでいる。(5) 期待がもてないようす。(6) かくしておきたい秘密(ひみつ)のあるようす。(7) よく知らない。

19【角新】6 (1) 光がたりない。明るさがない。

19【三国】5 (1) 光がたりなくて、ものがよく見えない。光がない。

19【福武】5 (1) 光が少なくて物がよく見えない。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 見た全体が、黒っぽい感じた。	①	①	①	①
② 印象が陰気である。				
③ 物事が・思わしく(好まし…				
④ 沈んで、晴れ晴れしない…				
⑤ 知識が乏しい…				

<20>くろい(黒)

20【学新】5 (1) 黒の色である。(2) 黒に近い色をしている。濃い褐色である。(3) [皮膚；衣服；白いものなどが] よごれている。(4) 暗くて、輪郭がはっきりしない感じた。(5) 悪・不正・不吉などの感じがする。

20【三現】4 (1) 黒の色をしている。

20【角新】3 (1) 墨のような色である。色が濃く深く、明るさの少ない感じがする。

20【三国】6 (1) 黒の色だ。(2) 皮膚が日に焼けて色がこくなる。(3) よごれた感じの色だ。(4) 悪い考えを持っているようす。(5) かんばしくない。悪い。(6) 不正な(手段による)

20【福武】3 (1) 墨や木炭のような色である。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 黒の色である。	①	①	①	①
② 黒に近い色をしている。…	①			
③ 暗くて、輪郭がはっ…				
④ 悪・不正・不吉などの感…				

<21>さびしい(寂)

21【学新】3 (1) ほしいものが物が得られず、物足りない。(2) 心が満たされず、楽しい気分になれない。(3) ひっそりしていたり、数が少なかったり、内容がとぼしかったりして、心細い。にぎやかさがなく、気が滅入るようだ。

21【三現】2 (1) たよりになる(・親しい)人がいなくて、心が満たされないようす。

21【角新】2 (1) もの静かで心細い。ひっそりしている。

21【三国】3 (1) たよりになる人がいなくて、みたされない感じだ。

21【福武】3 (1) あるべきものが欠けていて、満たされない気持ちである。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① ほしいものが物が得られず…				①
② 心が満たされず、楽しい気…		①	①	
③ ひっそりしていたり、数が…	①			

<22>さむい（寒）

22【学新】2（1）気温が低くて、からだがちぢこまるくらいに、体温がたくさん奪われるようす。（2）

〔ひゆ的に〕寒い（1）と感ずる場合と似た気持ちを表す。ア、イ。

22【三現】3（1）気温が低くて、肌（はだ）につめたく感ずるようす。（2）〔心が〕ぞっとする。（3）

「ふところが― [=持ちあわせのおかねが] 少なくて、心細い」

22【角新】3（1）気温が低く冷やかに感ずられる。

22【三国】1（1）気温が低くて、まわりの空気がかれだ全体で冷たく感ずられるようすだ。

22【福武】3（1）気温が低く冷やかに感ずられる。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 気温が低くて、不快な…	①	①	①	①
② 〔ひゆ的に〕寒い（1）と感…				

<23>しろい（白）

23【学新】1（1）白の色である。

23【三現】1（1）白の色である。

23【角新】2（1）白色である。

23【三国】2（1）白の色だ。

23【福武】2（1）白（1）の色である。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 白の色である。	①	①	①	①

<24>すずしい（涼）

24【学新】4（1）ほどよくひややかで気持ちがよい。（2）すんでいて美しい。さわやかな感じだ。（3）

〔姿が〕スマートで美しい。（4）平気である。しゃあしゃあしている。

24【三現】2（1）少しひんやりとして、気持ちがよい。

24【角新】2（1）ほどよく冷やかである。

24【三国】3（1）厚くなくて、気持ちがよい。

24【福武】2（1）〔気温の状態が〕適度のひややかさで快い。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① ほどよくひややかで気持ち…	①	①	①	①
② 目が心のよさと賢さを…				
③ スマートで美しい。				
④ 平気である。…				

<25>たかい (高)

25【学新】11 (1) (ものの位置が) 上の方であって、基準の面(地面・海面・底面など)からのへだたりが大きい。(2) (ものの) 下端から上端までの長さが大きい。たけが長い。(3) 身分・地位が他より上にある。(4) 能力が他よりすぐれている。(5) 品位・品格がりっぱである。(6) 一定の水準よりまさっている。(7) 程度・勢いなどがはげしい。また、数値が大きい。(8) 声・音が耳に大きく聞こえる。(9) よく聞こえている。有名である。(10) 買うのに多額の金銭がかかる。量や質にくらべて値段が多い。(11) えらぶっている。[多く「おー・い」の形で使う]

25【三現】9 (1) 下からの長さ(・高さ)が大きい。

25【角新】9 (1) 下から上端までの隔たりが大きい。

25【三国】9 (1) 下からの、長さ(へだたり)が大きい。

25【福武】4 (1) 基準となる位置からの隔たりが大きい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 上の方であって、基準の…		①	①	①
② 下端から上端までの長さが…	①	①	①	①
③ 身分・地位が他より上に…				
④ 能力が他よりすぐれている。				
⑤ 品位・品格がりっぱである。				
⑥ 一定の水準よりまさっている				
⑦ 程度・勢いなどがはげしい…				
⑧ 声・音が耳に大きく聞こえる。				
⑨ よく聞こえている。…				
⑩ 買うのに多額の金銭がかかる…				
⑪ えらぶっている。				

<26>たのしい (楽)

26【学新】1 (1) 心がみちたりて、明るく愉快的な気持ちである。心配やわずらいごとがなく、ここちよい。

26【三現】1 (1) うれしくて、心がうきうきしているようす。「一遠足・楽しくすごす」[派生] 楽しがる<自動五段>

26【角新】1 (1) 気持ちよくうれしい。満ち足りて快い。

26【三国】1 (1) 満足な状態が続いて、何も不平や不満のないようすだ。うれしい状態が続く感じだ。

26【福武】1 (1) 満ち足りて気持ちがよい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 心がみちたりて、明るく…	①	①	①	①

<27>ちいさい (小)

27【学新】7 (1) 物の面積・体積が他よりわずかである。(2) 数量や程度が他よりわずかである。(3) 声・音が遠くまで届かない。(4) (子供の) 年がっていない。年齢がすくない。年少である。(5) 金銭の単位が基準より下である。(6) 規模などが他より劣る。大きさが劣り、取り立てて言うほどのこともない。(7) 度量などが狭い。

- 27【三現】6(1) かさが少ない。
 27【角新】7(1) かさ・長さなどが少ない。
 27【三国】6(1) 面積。容積が少ない。
 27【福武】2(1) 形・数量・度合いなどが、同種のものにくらべて下回っている。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 物の面積・体積が他よりわ…	①	①	①	①
② 数量や程度が他よりわずか…				①
③ 声・音が遠くまで届かない。				
④ (子供の) 年がいったいな…				①
⑤ 金銭の単位が基準より下で…				
⑥ 規模などが他より劣る。…				
⑦ 度量などが狭い。				

<28>ちかい(近)

- 28【学新】4(1) [距離・時間の] へだたりが少ない。(2) 抽象的にへだたりが小さい。関係がこい。
 イ、ロ、ハ、(3) [性質・形状・内容・状態が] 似ている。…と言ってもよい。(4) 数量がそれより
 やや少ない程度である。それに満たないがそれくらいである。
 28【三現】3(1) [空間的・時間的な] へだたりが小さい。
 28【角新】6(1) 時間・距離の隔たりが少ない。(2) 親しい。近しい。(3) もう少しで…になる。(4)
 血縁が濃い。(5) 似ている。(6) 近視である。
 28【三国】4(1) 距離やへだたりなどが・みじか(少な)い。[時間にも距離にもいう]
 28【福武】3(1) へだたりが少ない。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① へだたりが少ない。	①	①	①	①
② 抽象的にへだたりが小さい…				
③ 似ている。…				
④ 数量がそれよりやや少な…				①

<29>つめたい(冷)

- 29【学新】2(1) [触れた感じで] 温度が特に低い。熱さをはなはだしく奪われる感じだ。(2) 情愛・
 人情味に欠けている。冷淡である。
 29【三現】2(1) 温度が低いと感じられるようす。
 29【角新】2(1) 温度が低い。冷やかだ。
 29【三国】3(1) 雪や氷にさわったときのような感じだ。(2) 心にあたたかみがない。冷淡だ。(3)
 気持ちが通いあわない。
 29【福武】2(1) 温度が低い。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 温度が特に低い。…	①	①	①	①
② 情愛・人情味に欠けている…				

<30>つよい(強)

30【学新】7(1) 力・技がすぐれていて、他に負けない。「腕っぶしがー・い」「将棋がー・い」「ー・いものが勝つ」(2) 健康で、持久力がある。丈夫である。「ー・い体」(3) しっかりとしてゆるがない。屈しない。「ー・い精神力」「ー・い信念」(4) ゆるみがない。かたい。「ー・く締める」(5) 勢いが激しい。また程度がはなはだしい。(6) きびしい。「ー・くしかる」「ー・く要求する」(7) <「…にー・い」の形で>ア、…にかけては能力などがすぐれている。…が得手である。イ、…に耐える力が十分ある。…にあって屈しない。

30【三現】6(1) 力がある。

30【角新】7(1) 力・勢いがある。

30【三国】7(1) 力が優れている状態だ。

30【福武】6(1) 力がすぐれている。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 力・技がすぐれていて、他に…	①	①?	①	①
② 健康で、持久力がある。…				
③ しっかりとしてゆるがな…				
④ ゆるみがない。かたい。				
⑤ 勢いが激しい。…	①			
⑥ きびしい。				
⑦ にかけては能力などがすぐ…				

<31>とおい(遠)

31【学新】5(1) 空間的・時間的にへだたりが大きい。ア、イ、(2) 抽象的にへだたりが大きい。関係がうすい。ア、イ、ウ、エ、オ、(3) よく聞こえない。(4) <目がー・い>老眼である。とおめである。(5) <気がー・くなる>意識を失う。

31【三現】5(1) [空間的・時間的な] へだたりが大きい。

31【角新】5(1) 距離的に隔たりが大きい。

31【三国】5(1) へだたりが大きい。[空間にも、時間にもいう]

31【福武】3(1) へだたりが大きい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 空間的・時間的にへだたり…	①	①	①	①
② 抽象的にへだたりが大き…				
③ よく聞こえない。				
④ 老眼である。とおめである。				
⑤ 意識を失う。				

<32>ない(無)

32【学新】3(1) [物・事のように、心をもたないものが] 存在しない。ア、イ、ウ、(2) もっていない。(3) [すでに死んで] この世にいない。

32【三現】3(1) 存在(そんざい)しない。

32【角新】3(1) 存在しない。また、所有しない。

32【三国】7(1) 見たり考えたりしても、そのものの存在がみつめられ(る状態をもた)ない。(2) 事実とは違ふ。(3) あつてはならない。とんでもない。(4) [おもに「…にー…もなく」の形で] ほかのものとくらべてそうでないことをあらわす。(5) [おもに「…もー…もなく」の形で] 無い・(そうでない) ことを強調することば。(6) [「…(といたつた)らー」などの形で] ほか(に) (くらべるものが) ないことをあらわす。(7) →: となく・ともない。

32【福武】無い・亡い3(1) [無い] そのものの存在がみつめられない。または、もっていない。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 存在しない。	①	①	①	①
② もっていない。	①			①
③ この世にいない。				

<33>ながい(長)

33【学新】2(1) 一方のはしから他方のはしまでの距離のへだたりが大きい。(2) はじめから終わりまでの、また、ある時点から他の時点までの時間のへだたりが大きい。

33【三現】2(1) はしからはしまでの間が大きくなつてゐる。

33【角新】長い・永い3(1) 距離が遠い。端から端までの隔たりが大きい。

33【三国】3(1) はしからはしまでの間が大きい。

33【福武】長い・永い2(1) [長い] 一方の端から他方の端までの空間的な隔たりが大きい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 一方のはしから他方のはし…	①	①	①	①
② はじめから終わりまでの…				

<34>はやい(早/速)

34【学新】早い・速い4(1) 一定の時間内にたくさん・変化する(動く)ようすである。スピードがある。すみやかだ。(2) [基準になる時とくらべてそれより] 時刻・時期が前である。(3) まだその時期ではない。(4) てっとりばやい。簡単だ。

34【三現】3(1) 時間がみじかくてすむようす。

(*はや・い【速い】2(1) きまつた時間に動く距離(きより)や、する仕事の量が多いようす。(2) 動きがはげしい(・急な)ようす。)

34【角新】早い6(1) ある期間に入ってから間もない。(2) まだその時刻・時期でない。(3) 短い時間ですむ。手っとり早い。(4) [時間的に] 先である。(5) 働きの鈍い。(6) [「…がはやいか」「…よりはやく」の形で]

34【三国】4(1) 時間がみじかくてすむ状態だ。…するや否や。…するとすぐに。

34【福武】早い・速い5(1) [早い] 基準となる時期・時刻より前である。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 一定の時間内にたくさん・…		①	①	
② 時刻・時期が前である。	①			①
③ まだその時期ではない。				
④ てっとりばやい。…				

<35>ひくい（低）

- 35【学新】5（1）高さの程度が少ない。（2）[音響学で] 音の振動数が少ない。[一般音量が少なくても使う]（3）身分・地位・品等が下である。（4）能力が劣っている。（5）一般に、程度が小さい。
- 35【三現】5（1）下からの長さ（・高さ）が少ない。
- 35【角新】4（1）上下の寸法が短い。
- 35【三国】7（1）下からの・長さ（へだたり）が少ない。（2）[等級などが] 下にある状態だ。（3）能力などがおとっている状態だ。（4）ねうちが小さい。（5）目もりなどの数字が小さい。（6）声・音の振動数が少ない。（7）小さく聞こえるようすだ。
- 35【福武】3（1）空間的に基準とする位置から下のほうであるようす。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 高さの程度が少ない。	①	①	①	①
② 音の振動数が少ない。				
③ 身分・地位・品等が下である。				
④ 能力が劣っている。				
⑤ 一般に、程度が小さい。				

<36>ふとい（太）

- 36【学新】4（1）[棒状・線条・ひも状などの物の] さしわたし・幅が大きい。（2）[声が] 低くてよく響く。（3）[中国・四国地方の方言] 大きい。強い。（4）[俗] 横着である。ふてぶてしい。ずぶとい。（参）非難の意を含む。
- 36【三現】5（1）[立体的なものの] まわりが大きい。（2）はばの長さが大きい。（3）声が低くて、よくひびく。（4）ものに動揺（どうよう）したり、おそれたりしない。（5）[俗語] ずぶとい。
- 36【角新】5（1）まわりが大きい。幅が大きい。
- 36【三国】3（1）まわりが大きい。
- 36【福武】3（1）同類のものに比べて、長さの割に断面のまわりや幅が大きい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① さしわたし・幅が大きい。	①	①	①	①
② 低くてよく響く。				
③ 大きい。強い。				
④ 横着である。…				

<37>ふるい（古）

- 37【学新】3（1）発生してから長い年月・時間がたって新しさ・珍らしさなどが無い。（2）前の時代に属している。昔のことだ。（3）時代おくれである。古風だ。
- 37【三現】3（1）長い年月がたっているようすだ。
- 37【角新】5（1）昔のことである。（2）多くの年月を経ている。（3）時間がたって新鮮さが無い。（4）珍しさが無い。（5）旧式である。時代おくれだ。
- 37【三国】3（1）何かあるものごととが始まってから、かなりの時間がたっているようすだ。
- 37【福武】3（1）ある物・事柄が現れてから長い年月がたっている。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① その・物（事柄）が発生…		①	①	①
② 前の時代に属している。…	①?			
③ 時代おくれである。…				

<38>ほそい（細）

38【学新】5（1）[長いものを]途中で切った場合、切り口の面積が小さい。また、やせている。（2）幅が狭い。（3）声が高く小さくて弱々しい。また、やせている。（4）量が少ない。（5）力が弱い。弱々しい。

38【三現】5（1）[立体的な物の]まわりが小さい。

38【角新】7（1）長さに対して直径・周囲が非常に短い。（2）やせている。（3）声が小さい。（4）度が小さい。（5）狭い。（6）量が少ない。（7）力が弱い。

38【三国】5（1）[長いものの]はばが小さい。

38【福武】3（1）長さの割に断面のまわりや幅が小さい。また、やせている。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 途中で切った場合、切り口…	①		①	①
② 幅が狭い。		①		
③ 声が高く小さくて弱々しい。				
④ 量が少ない。				
⑤ 力が弱い。弱々しい。				

<39>まずい

39【学新】4（1）味が悪い。おいしくない。（2）へただ。つたない。（3）ぐあいが悪い。（4）みにくい。

39【三現】5（1）味がわるく、おいしくない。（2）へただ。（3）美しくない。（4）ぐあいがわるい。つごうがわるい。（5）関係がよくない。

39【角新】4（1）味がよくない。

39【三国】5（1）味がよくないと感じる状態だ。

39【福武】4（1）味がよくない。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 味が悪い。おいしくない。	①	①	①	①
② へただ。つたない。				
③ ぐあいが悪い。				
④ みにくい。				

<40>まるい

40【学新】3（1）円形・球形をしている。（2）角がない。ふっくらとしている。（3）角だたず、穏やかだ。円満だ。

40【三現】2（1）球の（ような）形だ。角（かど）のない、なめらかな形だ。

40【角新】丸い・円い4（1）円形である。球形だ。

40【三国】丸い3(1) たまの形をしていて、かどがないようすだ。

40【福武】円い・丸い(1) その物の中心から外まわりのどの部分においても距離が等しい形だ。形が円や球に似ているようすだ。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 円形・球形をしている。	①	①	①	①
② 角がない。…			①	
③ 角だたず、稔やかだ。				

<41>みじかい(短)

41【学新】3(1) 端から端までの隔たりが小さい。(2) 初めから終わりまでの時間の経過が小さい。

(3) <気がー・い>しんぼうすることができない。せっかちだ。おこりっぽい。

41【三現】2(1) はしからはしまでのへだたりが小さい。

41【角新】4(1) 長さが少ない。(2) 高さが少ない。低い。(3) 時間が少ない。久しくない。(4) 気早い。せっかちだ。

41【三国】3(1) はしからはしまでの間が、小さい。

41【福武】2(1) 一方の端から他方の端までの空間的な隔たりが小さい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 端から端までの隔たりが小…	①	①	①	①
② 初めから終わりまでの時…				
③ しんぼうすることができな…				

<42>むずかしい(難)

42【学新】5(1) わかりにくい。理解しにくい。(2) 複雑で、やっかいである。ア、イ、(3) [病気が重く] 回復の見込みが(ほとんど)ない。(4) [人の言うことを] 簡単に聞き入れない。苦情・不満が多い。(5) 不機嫌で近づきにくい。

42【三現】6(1) わかりにくい。(2) なかなかできない。やっかいだ。(3) 困難(こんなん)だ。めんどうだ。(4) きげんがわるい。(5) 病気が重くてなおりにくい。(6) つきあいにくい。

42【角新】6(1) わかりにくい。理解しにくい。

42【三国】6(1) なかなかわからない。

42【福武】3(1) 簡単には片づかないようす。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① わかりにくい。…	①	①	①	①
② 複雑で、やっかいである。			①	①
③ 回復のみこみが(ほとんど)…				①
④ 簡単に聞き入れない。…				
⑤ 不機嫌で近づきにくい。…				

<43>やさしい(易)

43【学新】2(1) たやすい。容易である。(2) (理屈っぽくなく) わかりやすい。

43【三現】2(1) かんたんでわかりやすい。

43【角新】1(1) 造作ない。簡単だ。たやすい。

43【三国】1(1) すぐ・わかる(できる)状態だ。たやすい。

43【福武】2(1) あることをするのに、すぐできるようす。簡単であるようす。たやすい。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① たやすい。…	①	①		①
② わかりやすい。	①	①	①	

<44>やすい(安)

44【学新】3(1) [質・量などのわりに] 値段が低い。(2) 不安や悩みなどがなく、心がおだやかである。また、心身に無理がなく、楽である。(3) <「おー・ない」の形で>男女の間柄の親密なことをからかっていう語。

44【三現】1(1) 値段(ねだん)がひくい。

44【角新】3(1) 値段が低い。

44【三国】2(1) ねだんが低い。

44【福武】3(1) [質・量の割に] そのものの値が低いようす。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 値段が低い。	①	①	①	①
② 不安や悩みなどがなく、…				
③ 男女の間柄の親密なこと…				

<45>よわい(弱)

45【学新】5(1) 他と争えば負ける。力や勢力が少ない。(2) [音などが] かすかだ。(3) 不得意だ。苦手だ。(4) 他からの力や刺激に対する抵抗力に乏しい。(5) 病気にかかりやすい。病弱だ。

45【三現】11(1) 力や勢いがおとる。(2) やぶれやすい。長くもたない。(3) [からだ]が じょうぶでない。(4) [音・光などが] かすかだ。(5) [作用(さよう)が] はげしくない。(6) 数量が少ない。(7) いくじがない。ひるみやすい。(8) 受け入れる力がおとる。(9) 得意(とくい)ではない。にがてだ。(10) [俗語] 立ち向かいにくい。(11) [俗語] あまい態度(たいど)をとるようす。

45【角新】7(1) 力や勢いなどが少ない。

45【三国】4(1) 力や勢いが(少)ない。強くない。

45【福武】5(1) 力が劣っている。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 他と争えば負ける。…	①	①	①	①
② [音などが] かすかだ。				
③ 不得意だ。苦手だ。				
④ 他からの力や刺激に対する…				
⑤ 病気にかかりやすい。…				

<46>わるい(悪)

46【学新】6 ある物事が、何らかの基準からはずれたり何らかの要求に反したりするときに、それぞれを、思わしくない、好ましくない、または望ましくないとして評価するという語。(1) [言動などが道徳・法

律・社会的規範から外れて] 一般に、不都合である。適当でない。有害である。迷惑である。(2) 能力的に劣っている。(3) 顔・体などの外見が劣っている。美しくない。みにくい。(4) 心の状態や体の調子が通常とちがって思わしくない。(5) 運・環境・状況などが好ましくない。ア、[特に物の状態に関する場合。] イ、[特に自然現象・社会現象などに関する場合。](6) [特に、会話文中で、こちらの行為が相手に対してめいわくや不都合な影響を及ぼすことを言う場合] 気の毒である。申しわけない。

46【三現】10(1) 正しくない。よくない。(2) 正常(せいじよう)でない。(3) このましくない。「相手がー・印象(いんしょう)がー」(4) むつまじくない。円満でない。(5) 害をあたえる状態(じようたい)だ。(6) おとっている。(7) 不吉(ふきつ)である。(8) はたらきや状態がふつうでない。(9) きのどくである。もうしわけない。(10) 食べ物がいたんでいる。

46【角新】10(1) 道徳上、よくない。正しくない。

46【三国】10(1) 人の行いが基準からはずれて、好ましくない。

46【福武】6(1) 人間として行うべき道にかなっていない。

「学新」	「角新」	「三国」	「三現」	「福武」
① 言動などが道徳…	①	①	①	①
② 能力的に劣っている。				
③ 顔・体などの外見が劣…				
④ 心の状態や体の調子が通常…				
⑤ 運・環境・状況などが…				
⑥ 気の毒である。申し訳ない。				

Ⅲ. 基本的意味・一般的意味と使用頻度

ほとんど語において第一義は一致している、しかし、一致しないものもある。「新しい、面白い、寂しい、高い、早い・速い、易しい」がそれである。「新しい」「寂しい」については既に、丹保(1995a)において、若干の考察を行った。そして、その際、使用頻度が第一義の揺れに影響している可能性についてふれた。本稿では、第一義に揺れの見られない語であってかつ使用頻度が明らかに低いと思われるものについて考えてみたい。

先に示した46語について、第一義の立項にゆれがないもの(「新しい、面白い、寂しい高い、早い・速い、易しい」を除いた語)の使用頻度を中学校(光村図書出版)の国語教科書3冊と高等学校(東京書籍)国語教科書計6冊によって予備的に調査した。その結果、第一義以外の使用頻度が高いものとして、「軽い」「強い」「悪い」があった。(調査の対象として語彙すべてについて数値を挙げるのは紙幅の関係上割愛する。)このうち「悪い」は、語義の判定が困難であるものが多く、語義立項の問題として別の機会に譲りたい。なお、必ずしも第一義の出現頻度がそれほど高いと言えない語も見られたが、これらについては別の機会にふれることにしたい。

ここでは、第一義以外の語義の出現頻度が圧倒的に高い「軽い」「強い」に焦点を絞って、使用頻度と基本的・一般的意味(第一義)との関係について見ておくことにしたい。

なお、用例は、次の各国語教科書本文・原文によることにしたい。

高等学校教科書(東京書籍出版)平成5～8年度用

『新編国語Ⅰ』『新編国語Ⅱ』『新編現代文』『現代文』『国語Ⅰ』『国語Ⅱ』

中学校教科書（光村出版）平成5～8年度用

『国語Ⅰ』『国語Ⅱ』『国語Ⅲ』

高等学校教科書（三省堂出版）平成5～8年度用

『新編国語』『現代文』『明解国語Ⅰ』『明解国語Ⅱ』『新編国語Ⅰ』『新編国語Ⅱ』

『国語Ⅰ』『国語Ⅱ』

これらの用例検索データの総文字数（漢字、平仮名、カタカナ、アルファベット、数字、記号、句読点の総計）は、1,000,685字である。

Ⅲ－3. 「強い」の出現頻度と第一義

「強い」の各語義の出現数

「学新」	出現数	使用率
① 力・技がすぐれていて、他に…	21（?1）	18.6%
② 健康で、持久力がある。	2（?2）	1.7%
③ しっかりとしてゆるがない。	8（?6）	7.0%
④ ゆるみがない。	0	0.0%
⑤ 勢いが激しい。程度がはなは…	81（?7）	71.7%
⑥ きびしい。	0	0.0%
⑦ にかけては能力などがすぐれ…	1	0.8%

*（ ）は外数を示す。?は判断を下しにくいものであることを示す。

「軽い」の各語義の出現数

「学新」	出現数	使用率
① 重さが少ない。	9	3.0%
② 動きが軽快だ。	0	0.0%
③ 軽率である。	0	0.0%
④ 気持ち明るくはれればとし…	2	1.8%
⑤ 程度がはなはだしくない。	16（?1）	53.3%
⑥ 「処理が」簡単である。	2（?1）	6.7%
⑦ 物事にこだわらず、あっさ…	1	0.9%
⑧ 身分が低い。	0	0.0%
⑨ 「味などが」あっさりしてい…	0	0.0%

上の表から、「軽い」「強い」の第一義の使用頻度が各々第5義に比べかなり低いことが分かる。

丹保（1995a）において指摘した「新しい」の場合、辞書によってその第一義の挙げ方にゆれが見られた。しかし、「軽い」「強い」は、辞書による第一義のゆれが見られないものである。「軽い」「強い」は基本的・一般的意味（第一義）が使用頻度第一位とならない語であるといえよう。この他にも第一義にゆれが見られないものの中で第一義の使用頻度がそれほど高いとは

言えないものがある。しかし、それらはいずれもそれほど顕著なものではない。なお、「軽い」は、用例が30例と少なく、それほど信頼出来る統計的な数値とは言えない。「軽い」については、参考的な数値とするにとどめたい。

さて、「強い」において、最も使用頻度の高いのは、第5義の「勢いが激しい。また程度がはなはだしい」(71.7%)である。又、「軽い」においても程度を表す意味である「程度がはなはだしくない」が、少ない例の中ではあるが第一位の使用率(53.3%)であった。46語の中でも、程度を表す語義を持つものは、他にも見られる。「大きい」「重い」「高い」「小さい」「低い」等がある。しかし、これらの語の程度を表す語義は高い頻度数を示してはいない。

「強い」が第5義で使用されている実際の例を見ると、その被形容語は、次に示すように多岐に渡っている。

意識、主張、執着、音、思う、風、反日感情、抱く、求める、受けた、印象、言う、浸透性、目的、傾向、締める、つかむ、風潮、拘束性、制裁、吹く、コントラスト、意味あい、規定、希望、実感、焼き付く、フォルテ、弾く、エネルギー、日光、etc

「強い」は、「強く」の形で連用修飾語となるばかりでなく、動作性名詞や形状性名詞の述定、装定も行う。「強い」は、その意味が具体的でない故に、かえって多くの動作の程度を表すことになったものと思われる。「大きい」「重い」「高い」「小さい」「低い」が連用修飾語となる場合は、それらの持っている評価の意味、あるいは動作そのものの形状との関わりから動作的な矛盾を生じさせたりするため使用頻度が低いものと考えられよう。

一方、「強い」の場合は、その動作に与える力(エネルギー)によってその違いが生ずるものの、または具体的に動きを伴わなくても心的エネルギーに大小の別があるもの、であればいずれも修飾可能なのである。

「強い」の第5義による係りが不可能な動詞があることは言うまでもない。例えば、「*強く居る」「*強く帰る」などがその例である。しかし、これらは、「強い」のみならず、「大きい」「重い」「高い」「小さい」「低い」であっても被修飾語とならない。「居る」や「帰る」は程度性を持たない語と認識されていると言えよう。

それでは、「強い」の反対語である「弱い」に程度を表す用例が少ないことは、どのように考えればよいだろうか。具体的な例によって見ておこう。

先に挙げた、「強い・く」と共起する語を見ると、「弱い」とであれば共起しない又はやや不自然であると思われるものが見られる。例えば、「*弱く思った」(強く思った)、がその例である。又、「強くたたいた」「弱くたたいた」「軽くたたいた」によっても理解されるように、「弱い」には、「力無く」といったイメージが伴い、「強い」が受け持つ範囲に比べ、極端に限定されているようである。そのため、「軽く」といった基本的意味がマイナスの評価を伴わない語が程度の小なる部分を補っているのではないかと思われる。

IV. おわりに

一般に、基本的・一般的意味が使用率が高いと考えられているが、基本的・一般的意味であっても、必ずしもそうとはいえないものがある。本稿ではそのような語としての「強い」「弱い」について調査し、若干の考察を加えた。

今後、(1) 語義立項そのものにゆれが大きい語(例えば「悪い」)(2) 用例採集の母集団

の違いによる出現率への影響、等についても考えてみたい。

<引用辞書類>

- 1 『学研現代新国語辞典』初版 樺島他編（1995）；初刷（1989）
- 2 『角川新国語辞典』初版 山田他編（1994）；初刷（1981）
- 3 『三省堂国語辞典』第4版 見坊主幹（1992）；初刷（1992）
- 4 『三省堂現代国語辞典』初版 市川他編（1989）；初刷（1988）
- 5 『福武国語辞典』市川他編（1994）；初刷（1989）

<参考文献>

- 1 国立国語研究所（1984）『日本語教育のための基本語彙調査』
- 2 丹保 健一（1994）「現代日本語形容詞の多義構造－形容詞多義語における第一義の条件（その1）－」（『三重大大学教育学部 研究紀要第45巻（人文・社会科学）』）
- 3 丹保 健一（1995a）「現代語国語辞典に見られる語義配列の揺れ－「新しい」「寂しい」の第一義をめぐる－」（『文芸研究』第138集）
- 4 丹保 健一（1995b）「現代日本語形容詞の多義構造－形容詞多義語における第一義の条件（その2）－」（『三重大大学教育学部 研究紀要第46巻（人文・社会科学）』）

<用例出典一覧>（いずれも、平成5～8年度用教科書）

『新編国語Ⅰ』『新編国語Ⅱ』『新編現代文』『現代文』『国語Ⅰ』『国語Ⅱ』（以上 東京書籍発行高等学校国語教科書）

『国語1』『国語2』『国語3』（以上光村図書発行中学校国語教科書）

『新編国語』『現代文』『明解国語Ⅰ』『明解国語Ⅱ』『新編国語Ⅰ』『新編国語Ⅱ』『国語Ⅰ』『国語Ⅱ』（以上三省堂出版発行高等学校国語教科書）